

大きさに
注目

ムササビ座布団、 モモンガハンカチ♪



ムササビ (ホオジロムササビ)

科目:げっ歯目リス科
生息地:本州~九州
体長:頭胴長 27~48cm、
尾長 28~41cm
体重:700~1300g



モモンガ (ニホンモモンガ)

科目:げっ歯目リス科
生息地:本州~九州
体長:頭胴長 14~20cm、尾長:10~14cm
体重:150~200g

樹上で生活する夜行性のリス。前脚と後脚の間にある飛膜を使って、木から木へ滑空する。

ムササビとよく混同されるが、ムササビより体が小さく、大きな目のかわいらしい顔をしている。

01 大きさを見れば一目瞭然

ムササビもモモンガも世界各地に生息しますが、ホオジロムササビとニホンモモンガは日本だけに生息する固有種です。ここでは、この2種について紹介していきます。

両者は、木から木へと滑空するリスの仲間であることからよく混同されますが、大きさが全然違うので、知識があれば見分けるのは比較的簡単です。

まずムササビ。“空飛ぶ座布団”などともいわれるように、風呂敷や座布団、新聞の片面サイズぐらいと、飛膜(翼のようなもの)を広げるとなかなかの大きさがあります。一方のモモンガは“空飛ぶハンカチ”。飛膜を広げてもハンカチやはがきサイズぐらいと小さめです。

02 飛ぶときの形にも注目!

大きさで見分けられることがわかったら、もう間違えませぬ。では、ついでに、飛ぶときの形の違いについても覚えておいてください。

ムササビもモモンガも各2本の前脚と後脚、計4本の脚の間に飛膜が

ムササビ

START

モモンガ

座布団
サイズ

大きさは?

ハンカチ
サイズ

ムササビは、モモンガに比べてかなり大きい。

鋭い

目の印象は?

くりっとして
かわいい

ムササビは体に比べて小さめの目、モモンガはぱっちり目。



ある

顔に白い帯がある?

ない

ムササビは顔に白い帯があり、白門と呼ぶ。



五角形

飛んでいるときの形は?

長方形

ムササビは飛膜がしっぽまであるので五角形。



NO

群れている?

YES

モモンガは群れて暮らす。

わかったかな?

あり、ここに風を受けることでなめらかに滑空できます。滑空ということは、鳥のように翼を羽ばたかせながら自力で飛ぶ（飛翔する）わけではありません。自力で飛べる哺乳類はコウモリだけです。自分で飛べない代わりに、ツメが鋭く木登りが得意なので、木の高いところまで登ってそこから飛び出すことで飛行距離を稼ぐのです。

さて、ムササビとモモンガにはしっぽがあります。^{たこ}鼠のしっぽと同様に、全体を安定させる効果があります。ムササビのしっぽは太く長く、4本の脚だけでなくしっぽまで飛膜が広がっています。そのため、5本（4本脚＋しっぽ）の骨組みを飛膜が覆うような形、つまり五角形になって飛びます。これに比べてモモンガのしっぽは小さく、しっぽまで飛膜がきていないので、4本脚に飛膜が張られた四角形（長方形）で飛びます。

03 地味顔のムササビ、派手顔のモモンガ

ムササビもモモンガも夜行性のうえ逃げ足が速いので、野生のものはじっくり顔を見る機会がないと思いますが、動物園などでは顔に注目！ムササビの顔を見ると、ほおに白い帯状の模様があるのがわかります。これを白門^{はくもん}と呼びます。モモンガにはないのが面白いところです。

次に「目」を見てみましょう。ムササビは目が小さく地味めな顔つきですが、モモンガは大きな黒い瞳が顔の中で目立ちます。ムササビはちょっと意地悪そうな目をしていますが、モモンガは「小動物系のかわいらしさ」を象徴するような愛らしい顔をしています。

そして、ムササビとモモンガともに、「目」は、日没から日の出までの間に活動するのに適した、特別な構造をもっています。

04 暗闇でもよく見えて、光る目のヒミツ

動物は、水晶体（レンズのようなもの）を通して眼球の奥にある網膜に

対象物を映し出すことで「見る」という行為が可能になります。網膜には、明るい場所で働き、色を感じることでできる「錐状体^{すいじょうたい}」と、明暗を感知し、色は感じられない「桿状体^{かんじょうたい}」があります。ムササビやモモンガは桿状体が発達しているため、暗闇でも目が見え、夜でも活動できるというわけです。その代わりに、色を識別する能力はありません。

また、夜行性の動物は、網膜の外側にタペタムという反射板のような層をもっています。このタペタムの反射作用により、光を受けるときと跳ね返すときの2回、網膜を通過させることができ、弱い光でも増幅することができます。このため夜でも目がよく見えるのです。そして、タペタムは反射板なので、ライトなどを当てると目が光ります。ネコなどの夜行性動物も同様ですね。

05 性格やライフスタイルもまったく違う

ムササビは群れでは暮らさない孤高の生き物です。モモンガも単独性ですが、寒い冬は一つの巣に5～10匹で暮らし、体を寄せ合って過ごしているようです。ムササビも巣を作りますが、たいていは1匹で巣を使うか、メスとその子どもと一緒に使う程度です。

この動物も似ている……フクロモモンガ

フクロモモンガは「モモンガ」とはいても、一般的なモモンガ（タイリクモモンガやアメリカモモンガなど）と違い、有袋類の仲間です。つまり、種類としては、カンガルーのほうが近いということになります。事実、フクロモモンガのメスには、お腹に赤ちゃんを育てる袋がついています。

フクロモモンガは、オーストラリアに生息する動物です。体長はしっぽを除くと15cm程度の小ささで、フワフワのやわらかい毛並みと、黒目がちで大きな瞳がかわいらしく、日本でも人気急上昇中。ここ数年で、フクロモモンガを扱うペットショップが増えてきています。